

8. 虹色のシンフォニー

◎参加人数

6名（虹色のシンフォニーメンバー）

◎今年度の活動内容

「虹色のシンフォニー」は、昨年に引き続き活動させていただき、今年は8月11日に戦災復興記念館にて開催しました。顧問である菊池恭江先生ご指導のもと、12名のソリスト、20名のオーケストラ、9名のスタッフで構成したコンサートです。「虹色のシンフォニー」の母体となりました弦楽四重奏 QSP でも、今年はトリオやヴァイオリンソロ演奏など、カルテット以外の活動も積極的に行いました。

震災以降多くの著名な音楽家がチャリティーコンサートを実施し、復興に力を入れてきました。そこで東北地方に唯一ある四年制大学音楽科の弦楽器専攻生の私たちに何かできることは無いかと思い、QSPを結成し、音楽を届ける活動を始めました。日常的な空間の中にも癒しのひとときをお届けできるよう、プログラミングや衣装等にも工夫を凝らし活動をしてきました。

今年は、特別支援学校や、高齢者施設、病院等を中心に、様々な場所で演奏機会をいただきました。活動実績一部は以下になります。

6月13日 松田病院慰問演奏

6月29日 宮城学院女子大学オープンキャンパス

8月5日 サマーカレッジ

8月11日 虹色のシンフォニー

8月27日 特別養護老人ホームうらやす

10月16日 船岡支援学校

10月19日 愛子ひかり苑

10月21日 イオン中山店

2月23日 石巻市立大原小学校

3月15日・16日 虹色のシンフォニー

◎今年度の振り返り

「虹色のシンフォニー」では、演奏だけに留まらず、子供ソリスト・弦楽オーケストラメンバー・スタッフ募集、会場の手配、印刷物・楽譜の手配、広報など企画から運営、そして演奏に至るまで、総合的に一つのコンサートをプロデュースすることを目的としました。また、私たちの演奏形態の弦楽オーケストラで伴奏という形は既存の曲が少ないため、自分たちで編曲をし、私たちの音作り、演奏を目指しました。

「虹色のシンフォニー」では200名を超える沢山のお客様を迎えることができるなど、地域の方々、ソリストの子供たち、先生方と交流をもつことができ、改めて「音楽の力」を再認識することができました。また、もっと様々なニーズにお応えできるよう、演奏技術やプログラミング能力の底上げも必要だと感じました。

今後も継続的に演奏活動を続け、地域の方々との交流を大切にしながら、演奏活動からの地域への還元に努めて参りたいと思います。また、私たちが先輩音楽家や先生方から多くのチャンスをいただき、ご指導していただいたように、音楽家を志す小さな音楽家達への演奏チャンスも広げ、希望をもって音楽の道に進めるような音楽環境の充実のお手伝いが出来ればと思います。そして、演奏だけではなく、子供たちが本物の音楽に触れる機会がより多く設けられるよう、先輩方にもお力をお借しいただきながら、発展的な活動にして参りたいと思います。

8. 虹色のシンフォニー



8月11日「虹色のシンフォニー」演奏会



3月15日菊池先生退官記念「虹色のシンフォニー」
演奏会